

情報社会と情報倫理		講義	教授 梅井 勇之
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 専門選択科目、経営・経済 コースの選択必修科目	科目ナンバリング	23021201

1. 授業のねらい・概要

近年、AI の登場により企業が利用する情報システムに新たな機能が追加されている。企業が事業に利用する代表的な情報システムの概要と AI を使った新しいサービスについて説明する。

マーケティング業務やサービス業務を支える情報システム、オープンデータの獲得や活用について学び、実際にパソコンを使って地域経済分析システムを活用しながらデータを読み解いていく。

さらに、情報セキュリティに対する脅威と脆弱性、情報セキュリティ対策、個人情報の保護と活用について学修する。
本科目は、文科省の数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）の知識を身に付けることができる。

2. 授業の進め方

講義中心に進めるが理解を深めるために定期的に課題を行う。

3. 授業計画

1. ガイダンス	9. 情報セキュリティに対する脅威と脆弱性
2. コンピュータのハードウェア	10. 通信に対する攻撃と暗号化
3. コンピュータのソフトウェア	11. 情報セキュリティ対策
4. マーケティング業務を支える情報システム	12. 情報セキュリティ対策の考え方
5. サービス業務を支える情報システム	13. 情報セキュリティマネジメントの実施
6. AI（人工知能）によるデータ活用力の向上	14. 個人情報の保護と活用
7. オープンデータの獲得と活用	15. 個人情報保護の動き
8. 地域経済分析システムの活用	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

前回授業の講義内容や、課題として出題された内容の復習に1時間程度必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題を出題後にヒントを与え、次回授業時に解答のポイントを説明する。定期試験については模範解答を掲示する。

6. 授業における学修の到達目標

情報技術および情報倫理を理解し、情報社会におけるコンピュータ利用が円滑かつ適正に行えることを目的とする。

7. 成績評価の方法・基準

課題（50%）、期末試験の結果（50%）によって評価する。

8. テキスト・参考文献

教科書：「新入生のためのデータサイエンス入門」、共立出版、2023 年

9. 受講上の留意事項

講義と同時にパソコン演習（課題）を行うので、ノートパソコンを持参して利用してもらいます。また、講義の内容を理解するためにノートをきちんととること。理解できないときは積極的に質問してください。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。